

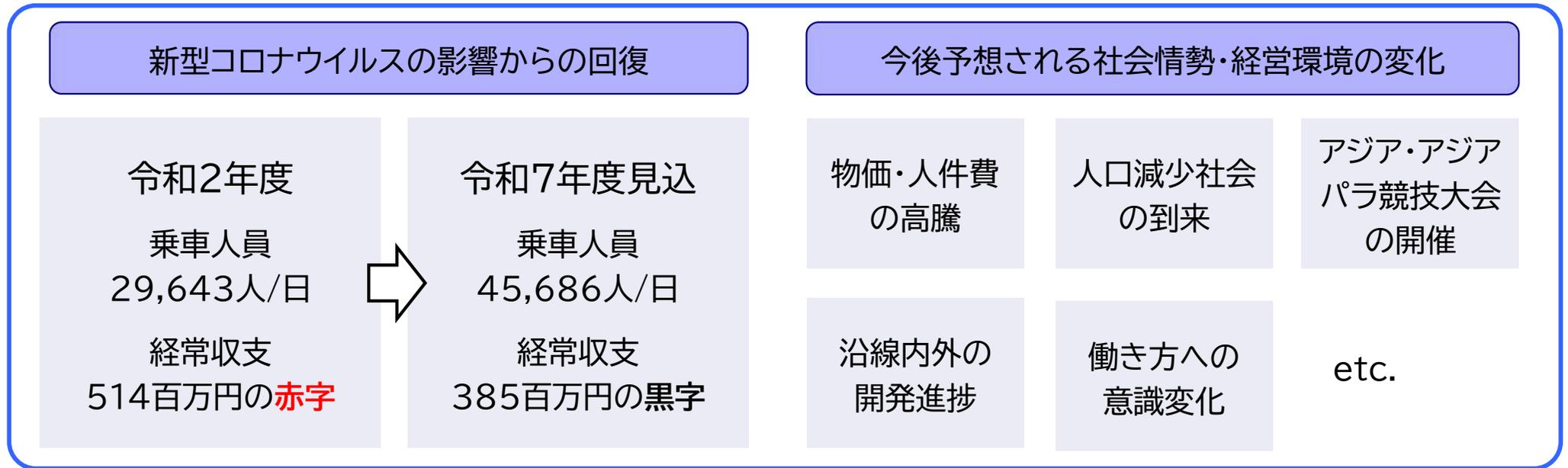
中期経営計画

(令和8年度～13年度)
～変わらない使命とともに～
概要版

名古屋臨海高速鉄道株式会社
令和8年3月



◆計画策定の背景及び趣旨



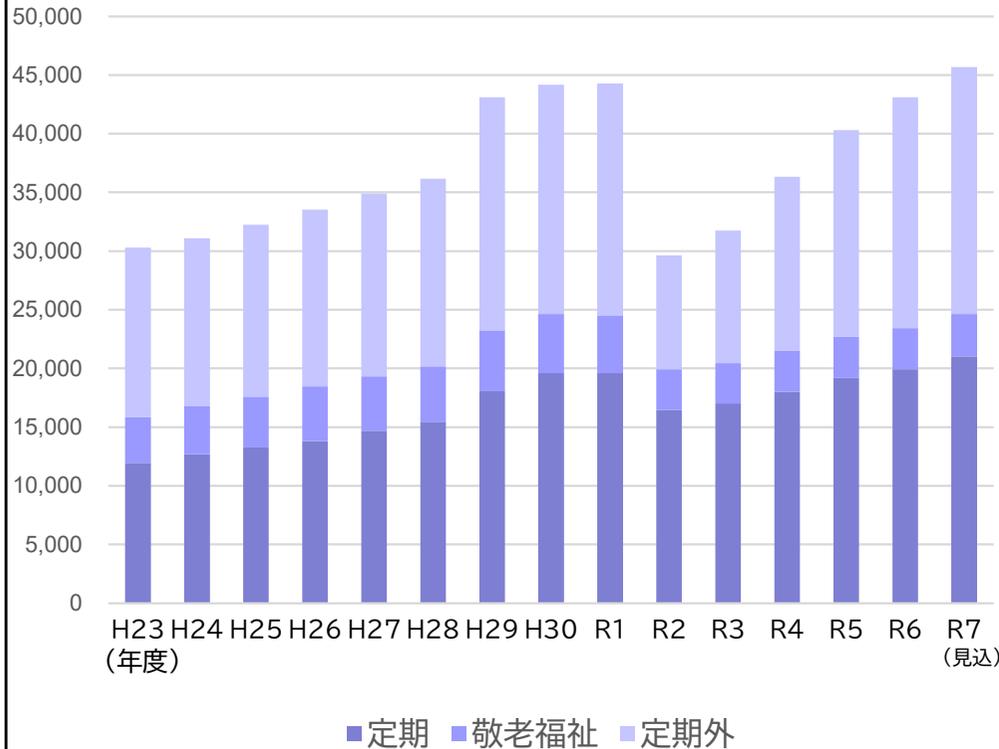
- 前計画期間(令和5～7年度)を通じて、コロナ禍から一定の回復を果たすことができた一方、足元では急激な物価・人件費高騰などの新たな社会情勢・経営環境の変化が生じつつある。
- 絶えず変化する社会情勢・経営環境の中で、当社の変わらない使命を果たしていくためには、これまでの取組みを継承しつつ、今後予想される環境変化を取り入れた新たな指針が求められる。

中期経営計画(令和8～13年度)を策定

◆当社の現状

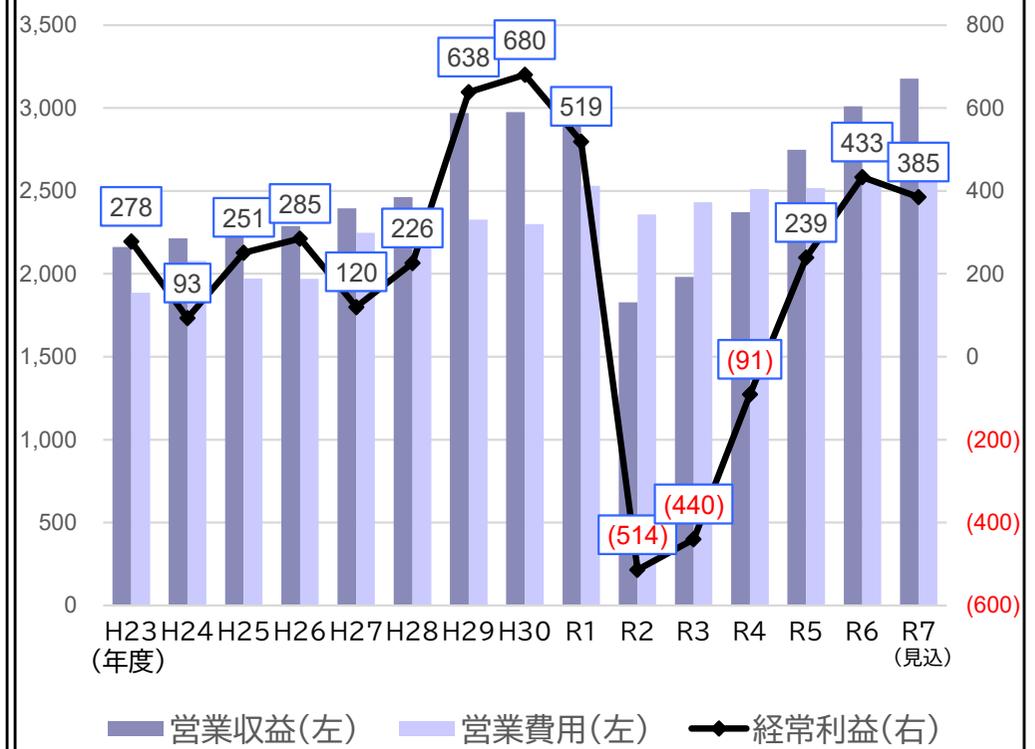
(単位:人/日)

一日あたりの乗車人員の推移



(単位:百万円)

収支の推移



- ▶ H23～R元年度までは沿線開発の進展等に伴い乗車人員が順調に増加、9期連続で黒字計上
- ▶ 新型コロナウイルスの影響による乗車人員の大幅減により、R2～R4年度まで赤字計上
- ▶ その後は乗車人員の回復基調が続き、R5年度に再度の黒字転換したのち、3期連続で黒字計上
- ▶ R7の乗車人員は、コロナ禍前のR元を超えて過去最高の45,686人/日となる見込み



◆計画の概要

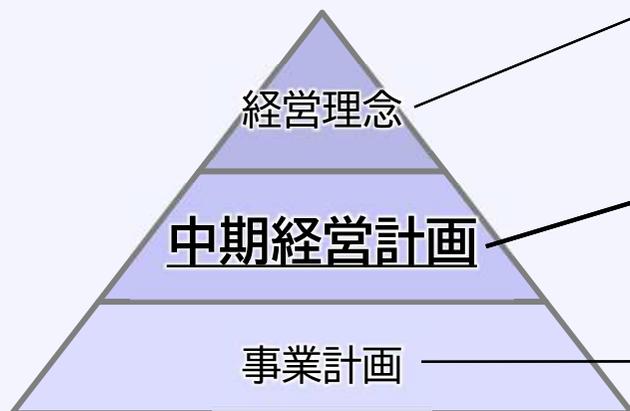
○計画期間

令和8年度～令和13年度までの6年間

○計画方針

- ▶前計画を引き継ぐ形で3つの『基本戦略』を設定し、それぞれにかかる『具体的な取組み』を整理する。
- ▶計画期間のうち前半3年間(令和8～10年度)については、具体的な計画目標を設定するとともに、名古屋市の『経営戦略計画』に位置づける。
- ▶前半3年間の終了までに中間評価を実施し、後半3年間に向けた計画の見直し・目標設定を行う。以後、3年毎を目途に経営計画の見直しを継続する。

○計画の位置づけ



あおなみ線が交通事業者として果たすべき使命と、それに向けた会社の基本姿勢及び行動指針を示したもの

経営理念に基づき、中期的なスパンで取組むべき方策や計画目標を明らかにしたもの

中期経営計画に基づく単年度の取組み

◆基本戦略

○基本戦略Ⅰ 『安全』で『安心』な輸送サービスの推進

安全最優先の企業風土や安全の確保に向けた仕組みの浸透を図るとともに、安全運行に必要な不可欠な設備の修繕・更新を計画的に進めていくことで、『安全』で『安心』な輸送サービスの提供を目指します。

○基本戦略Ⅱ 『便利』で『快適』なお客さまサービスの向上

お客さまサービスに対する社員の意識向上や、お客さまにとって利用しやすい環境づくりなどの取組みを進めることで、『便利』で『快適』なお客さまサービスの提供を目指します。

○基本戦略Ⅲ 『健全』で『持続可能』な経営の推進

あおなみ線の利用促進や収支・経営基盤の安定化に向けた取組みを進めるとともに、将来を担う人材の確保や育成を図ることで、『健全』で『持続可能』な経営の推進を目指します。

◆具体的な取組み ～基本戦略Ⅰ『安全』で『安心』な輸送サービスの推進～

(ア) より強固な安全文化の構築

- ① 重点実施事項に沿った取組み
- ② 標準化・明文化によるルール遵守の徹底
- ③ 情報共有の推進

(イ) 施設・設備の計画的な修繕・更新

- ① 施設・設備の老朽化対策
- ② 車両搭載機器の更新

(ウ) 自然災害等に備えた改修・設備投資

- ① 高架橋等の耐震対策
- ② 電気設備の浸水対策
- ③ 荒子駅折り返し設備の整備

(エ) 危機管理体制の継続的な見直し・改善

- ① 異常時対応訓練の充実
- ② 事業継続計画(BCP)の検証・改善



施設・設備の老朽化対策(まくら木の交換)



警察・消防との合同訓練

◆具体的な取組み ～基本戦略Ⅱ 『便利』で『快適』なお客さまサービスの向上～

(ア) サービス設備の更新・機能強化検討

- ① 駅舎の補修
- ② 駅務機器の更新
- ③ キャッシュレス化の検討

(イ) 需要動向に対応した輸送体制の確保

- ① 沿線イベントへの柔軟な対応
- ② 沿線開発への対応

(ウ) お客さま満足度の向上

- ① 接客・接遇に関する社員教育の実施
- ② お客さま意見への対応力向上
- ③ 外国人旅客への対応力向上



サービス設備の更新の例(車両シートの更新)



翻訳アプリを活用したお客さまへのご案内(イメージ)

◆具体的な取組み ～基本戦略Ⅲ 『健全』で『持続可能』な経営の推進～

(ア) 企業イメージ・認識度の向上による利用促進

- ①地域連携の強化
- ②PR・イベントの強化

(イ) 収支改善の取組み及び経営基盤維持方策の検討

- ①収入源の多様化
- ②経費削減
- ③外部資金の活用
- ④経営基盤維持方策の検討

(ウ) 人材の確保・育成

- ①計画的な人員採用の推進
- ②技術・ノウハウの継承
- ③接遇能力の向上

(エ) 働きやすさ・働きがいの確保

- ①職場環境の改善
- ②社員の意欲向上策
- ③コンプライアンスの遵守



イベント例(あおなみ線フェスタ)



イベント例(さよなら初代座席シート列車)

◆計画目標

指標	令和8年度	令和9年度	令和10年度
輸送人員	43,900人/日	45,600人/日	45,200人/日
旅客運輸収入	2,824百万円	3,030百万円	2,995百万円
経常損益	▲151百万円	119百万円	7百万円
鉄道運転事故 インシデント ※ 輸送障害	0件	0件	0件

※ いずれも当社に起因するものについて

◆輸送人員見込み・収支見込み

○輸送人員見込み

(単位:人/日)

	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度	R16 年度	R17 年度
輸送人員	43,900	45,600	45,200	45,800	45,800	46,100	45,600	45,800	45,600	45,700

○収支見込み

(単位:百万円)

	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度	R16 年度	R17 年度
営業収益	2,937	3,147	3,111	3,149	3,143	3,169	3,131	3,149	3,134	3,149
営業費用	3,058	3,002	3,082	2,983	3,037	3,124	3,143	3,135	3,166	3,133
経常損益	▲151	119	7	143	86	28	▲27	0	▲44	6
現預金 残高	1,683	1,608	845	1,014	521	614	557	867	1,314	1,663